

令和4年度 自己点検及び評価内容

日本語教育機関名：金沢日本語学校

評価基準 5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1、教育理念・目的等	評価
1-1 理念・目的・養成・人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 理念に基づいて教育を行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校は、在籍する留学生が日本語能力、日本文化、習慣をしっかりと身につけ、専門学校、大学などへ進学することを目的としている。日本語能力の向上に伴い、座学による日本語学習に加えて日本語によるスピーチ発表会、演劇、書道、着物体験、などの文化体験に取り組んでいる。また、町内運動会など地域社会の行事、交流の場に参加するようにして、市民生活に溶け込みながら日本語学習の実践を行い、活きた日本語や日本文化の習得に努めている。現在は学生のより望ましい進路に向けて力を注いでいる。

2、学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能の確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処理・職場処理の改善に関する制度は完備しているか	5
2-5 情報システム化による業務の効率化が図られているか	4
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上される機能が整備されているか	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	4
2-8 施設・整備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

開校前の事業計画通りに学生を募集し入学させており、安定的に運営しており、学校の財務状況は健全である。運営方針や事業計画は定めたものをすべての教職員に周知し、教職員の全てがその方向に向かっている。教職員はすべて入社時より雇用者と被雇用者の同意による雇用契約に基づいて職務内容・賃金給与などの待遇を決めており、その通り実施している。コロナ対策として数度にわたって注意を促す文書や、直接口頭による指導を行い、感染防止の意識をもたせた。その結果、コロナウィルスの罹患者は0である。学生管理システムを導入したが、まだ十分に活用しておらず、今後の課題である。

3、教職員	評価
3-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めているか	5
3-2 教職員の教育力、支援力強化のための研修等を実施するとともに、他機関の実施する研修会等への参加を促している。	3
3-3 教職員評価を適切に行っているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

教職員の職務内容は明確に定められており、その内容に応じて効果的に職務を実行している。教職員は少人数のため、日頃より互いによくコミュニケーションをとり合いスムーズに意思確認をしている。学生・教師によるアンケート

ート調査を実施し教職員評価のための参考にしている。また、他の友好日本語学校と連携体制をつくり、情報交換、並びに互いに評価し合うことを計画している。今後は年2回程度、実施する予定である。また、今後の課題としては、校長による教職員との個人面談を実施する予定である。次年度からは教職員対象の研修会参加を積極的に促すとともに、共同教材研究・授業参観などの機会も増やしていきたい。

4、教育活動	評価
4-1 理念、教育目標に会致したコースを設定し、カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2 授業開始前までに学習者の日本語能力を判定し、適切なクラス編成を行っているか	5
4-3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置しているか	5
4-4 授業記録等を備え、実施した授業を正確に記録しているか	5
4-5 理解度、到達度の測定を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学習者に伝えているか	5
4-6 教員評価を含む教育活動の評価を定期的に行っているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

教育目標を基にしたカリキュラムを体系的に編成し、それに合わせて授業をしている。授業の内容・課題・進度などについては授業記録を作成し、教員間で情報共有し、授業の客観的評価をしている。定期的に日本語能力プレースメントテストを実施し、その結果をもとに適切にクラス編成を行っている。担任制を実施し、教員の能力や経験に応じて適切に配置している。教員評価は行っているが、来年度以降、教師の定期的な授業評価を共有する予定である。

5、学生支援	評価
5-1 日本社会を理解し、適応するための取組を行っているか	5
5-2 学生相談、進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生心身の健康管理・自己・傷害のサポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 入管法上（入国・在留関係）の留意点の指導、伝達を定期的に行われているか	5
5-6 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか	5
5-7 常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

学生の健康管理・生活環境の問題点・在留ビザの対応などに関して常に相談が受けられるように窓口を設けている。学生の心身の健康管理を最も重要だと考え、学生の出欠管理や、欠席前の体調・行動などについて教職員間で情報を共有している。学生面談を通して、各学生の進学・就職に関する希望、現状の学力などクラス担当教員はしっかり把握しており、他の教員もこの情報を共有している。定期的に在留資格、進学進路に関する説明会を実施している。

6、入学者の募集・選考・納付金	評価
6-1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を掲示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うように努めている。	4
6-2 海外の募集代理人の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか	5
6-3 入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認しているか	5
6-4 入学者の選考当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うように努めているか	5
6-5 学費の納付の金額、納付期間、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記して	5

いるか	
6-6 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開しているか	5
6-7 上記 6-5、6-6 については入学志願者、在籍者及び経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校の教育内容や学費などの正確な学校情報はホームページにて掲示している。ただ、現在は日本語・中国語・ネパール語だけである。現状では、ほとんどがネパール出身の留学生であるため、ネパールの海外募集代理人について本校なりに調査し、適切な海外募集代理人を選別している。入学希望者に対しては、教員がインターネットで日本語による面接試験を実施し、日本語能力のレベル、学習意欲や適切な学習目標があるかどうか、経費支弁者の支弁能力などを総合的に判断し、入学者を選考している。

7、財務	評価
7-1 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	5
7-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
7-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校の財務状況は健全で安定している。さらに必要であればその後も支援できる状況にあり、財務基盤は中長期的に安定状態にある。予算・収支計画は、税理士と顧問契約を締結しており、そのアドバイスを受けながら適正に行われている。

8、教育施設	評価
8-1 教室は十分な照度があり換気がなされているか、語学教育に必要な遮音がなされているか	5
8-2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めているか	5
8-3 法令上必要な設備等を備えているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

教室の広さや採光は十分であり換気も定期的に行っている。冷暖房を備えており快適な環境を維持している。また、2Fの共用スペース・3Fの多目的室と4階には保健室・図書室を確保しており、学生との面談や授業時間外の自習などに対応している。

9、安全・危機管理	評価
9-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか	5
9-2 感染症発生時の措置を定めているか	5
9-3 気象警報発令時措置、災害時の避難方法等を定め、職員及び学生に周知しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

新入生の入国後三日以内に、全員が国民健康保険に加入している。新型コロナウイルスの予防のために教職員は毎日、学生の健康観察、検温、手洗い、手指消毒、マスク着用の確認を行ってきた。2023年3月までに学校内に感染事故はない。気象警報発令や災害発生時は校長に指示を仰ぎ、教務主任がメールなどで教職員、学生に臨時休校などの知らせをする。ただ、学校以外の場所での災害発生時の対処方法の指導が不十分だと考える。緊急時連絡網体制(学生の生存確認の方法など)は、今後さらに強化させる必要がある。教職員の緊急連絡として、休日の定時連絡や、生活指導担当者を中心として、学校用電話を携帯させることも検討している。

10、法令などの遵守	評価
10-1 法令遵守に関する担当者を定めているか	5
10-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか	5
10-3 個人情報保護のための対策をとっているか	5
10-4 地方出入国在留管理局、関連省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

個人情報の管理は厳格に行っているが、より時代に合った方法を検討したい。関係機関への報告については滞りなく行っている。地域の警察官を講師とする安全講習会は今後も続けたい。外国人に関する犯罪、性犯罪防止などについては、今後、顧問弁護士のアドバイスを受け、法令遵守についての教職員の意識を高める研修会を設けたい。また、学生の多国籍化に伴う生活習慣の違いによるトラブル防止策など、きめ細かな生活指導のあり方を考慮したい。

11、社会貢献	評価
11-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
11-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

学校の式典や各種行事には地域関係者を招待する予定がある。これまでは、コロナ禍にあり、今年度は開校式・入学式以外の各種行事はできていない。コロナ終息後以降は、町内会を通して、より積極的に地域との交流の機会を持ちたい。また、学校の施設を利用した社会貢献も検討したい。ボランティア活動はまだ不十分であるが、来年度は学校所在の町内で除雪作業などを実施する予定があり。今後は各種ボランティア活動を紹介するなどして、学生が自主的に参加できるよう奨励や支援をしたい。